

ふるさととくぢ

歌

つ

て

踊

つ

て



11月1日 徳地フェスティバル 2015 が開催されました



目次

- 里山だより・歴史と民俗…2P
- とくぢで輝く・見てえーね聞いてえーね来てえーね…3P
- 行政だより…4P
- 行事カレンダー・地域拠点だより…5P
- ふるさと再発見・くらしのレシピ…6P



(2015年11月末現在)

山口市 徳地フェスティバル

楽しんでね～





里山だより

“素敵な時間を徳地のCaféで”

ケーキ・雑貨・苺などをマイナスイオンの山あいで



Café KOTI (コティ)

New Open



彩 (あや)

人口減が進む徳地のあちこちに、おしゃれなCaféがたくさんあるのをご存知ですか。これまでのお店に加えて、7月は堀にCafé KOTI (コティ)、9月には船路東に彩 (あや) がオープン。

ちょっと数人が集まって、ゆっくりと楽しい時間を過ごす。それぞれのお店の特徴を選んで・・・なんて素敵でしょう。そんな町が徳地ですね。

食事がメインのお店でも時間帯を選んで幸せな時間を過ごせます。ピザやパン (K's House)、オムライス (ねむの木)、定食など (食彩)、その他にもたくさんあって、紹介しきれないほどで楽しくなりますね。



自由創作いどう



あさむらいちご園



tete

(取材：池田特派員)

表紙の写真から



11月1日 (日)、恒例の徳地フェスティバルに地域内外から沢山の人が集まりました。体育館では八坂小、柚野木小、佐波分校、徳地フラ、綾穂会、薫童子の熱演とカブトムシゆかりさんの昆虫教室、外のテントでは各団体・業者等の出店で買い物や食事をして秋の一日を楽しみました。

(山口市徳地フェスティバル

2015 実行委員会)

お正月の飾り物



◎門松 遠く神代の天照大神が天の岩戸におかくれになった時、神をたてた故事から出たといわれている。

松は祭木ともいい、千年変わらぬ緑がめでたいからで男松女松をたてるのは、イザナギ・イザナミの両神をかたちどったともいう。新年を迎える際に、年神様が降りてくるときの目印として、一般的には、門前の左右に一对並べ、玄関に向かって左側を雄松、右側を雌松と呼ぶ。

さらにここに、まっすぐに節を伸ばす竹が長寿を招く縁起ものとして、梅は霜雪をしのいで咲く気品を愛したものである。

◎しめ飾り 玄関口や神棚などにしめ飾りをする。正月に年神様を迎えるためである。もともとは、神社がしめ縄を張りめぐらせるのと同じ理由で、自分の家が年神様を迎えるにふさわしい神聖な場所であることを示すために、家の中にしめ縄を張ったのが始まりといわれている。

その「しめ縄」が簡略化された

てゆき、「しめ飾り・輪飾り」となっていた。

◎鏡餅 大小二つに重ねられた鏡餅は、半紙を敷いた三宝(食物を供える四角な色)に載せ、橙・ゆずり葉・昆布などを添えるのが、一般的である。

鏡餅といわれる理由は、昔の鏡が円形だったので、人の魂を模したことだから、丸餅になったといわれ、鏡は人の心をうつし神霊の宿るものであり、人の鏡となるものである。また、大小二つ重ね合わせるの、月(陰)と日(陽)を表していて福徳が重なって縁起がいいと考えられたからである。

◎飾り炭 黒い色が邪悪を避け「住み」にひっかけて永住を祝う。

◎昆布 和名をヒロメといい、昆布と書く。広くなる意味と、よろこぶの意を重ねている。

◎橙 日々続き栄え、存続の祈りの意。

◎歯は齢(よわい)、歯は枝で、長寿を意味。裏の白い方を用いるのは潔白と白髪になるまでの意を重ねたものである。

◎譲り葉 一名親子草とも書き、長く子孫に福をゆずる意。次世に家系を「譲って絶やさぬ」という願いをこめている。

◎串柿 柿は嘉来(かき)、また万物をかき集める意で、めでたい意である。

参考文献 日本民俗事典

編者 河野 正

とくいで輝く

まるで「村の鍛冶屋さん」
のように

前小路ワークス とくぞ作業場
清水博文さん (58)



■小古祖の旧通りの一角に：
通勤の途中、写真のような看板が気になり訪ねてみました。そこは、時計で有名なオメガに3年前まで勤めていた清水博文さんの実家で、まるで昔の鍛冶屋のようなコンセプトで鞆・財布・雑貨などを作っているちよつと面白い空間でした。ぱいナイスミドルといった風情の清水さんの指には、縫針のたこがくつきり。手縫いを売り物にしているわ

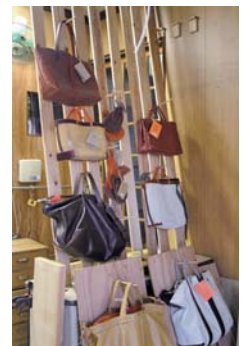


けではないけれど、ミシンや機械で縫うのとは違い、理にかなった「思いどおりの形」ができるとのこと。薄くくなめした皮を裏返して縫うといった大量生産ではなく、表側からの手縫いなので、丈夫で融通も利き、二つとないあなただけのモノになるってわけです。

■きっかけは30年前の手帳づくり

清水さんが手縫いの皮製品を作るきっかけとなったのは、既製のシステム手帳のサイズが気に入らなくて、B6サイズで作った手帳が仲間内で好評だったことからです。さらに自分が意外に器用だと気づいたのは、東京西麻布のカフェでワークショップを開いた際、最初から結構きれいに作れた清水さんと違って、受講者の誰も手縫いのシステム手帳づくりをきちんとできなかったからだそうです。

清水さんの商品は、広島勤務時代に知り合ったアウトドアショップの社長のお店など広島、尾道、福山、岡山、東京や長門、周南でも販売して



いるそうです。でも、小古祖の作業場に向いて、自分の希望を伝えて作ってもらう方がいいかもしれない。だって、彼の考え方・姿勢に直接触れることができるからです。

(取材：徳地づくり達人塾、池田特派員)

革・セイルクロスの鞆・財布・雑貨など、売ってないもの、必要なもの、欲しいもの、作ります。

【問合せ先】

住所 山口市徳地小古祖349

営業時間 10時〜17時頃

(休日不定期)

☎090-4136-2679

ご来店いただける際は、お電話にてご確認ください。



幸多き年でありますように

初詣でや初日の出が拝めるスポットがたくさんありますよ。新しい年を徳地で迎えませんか。



初詣で

◎出雲大社周防分院(島地)

境内にて大たき火、家内安全など祈禱の受付、地元の方によるコーヒーの接待、各種お守りを用意しています。

初日の出

●初日にちかう会

平成28年1月1日
午前7時〜

集合同所
串地域文殊岳入口

内容

山頂に向かって登山(約20分)御来光ばんざい♪記念撮影♪下山♪集合同所にて豚汁・ぜんざいの接待♪じゃんけん大会♪解散(午前8時)



◎花尾八幡宮(島地)

境内にて大たき火、各種お守りを用意しています。

◎出雲神社(堀)

境内にて大たき火、各種お守りを用意しています。周防二の宮として知られ三社参りの方や市外からの参拝も多いです。



行政だより

移動消費生活センター（後期） 出前講座を開催します！

高齢者を取り巻く被害が拡大している中、地域全体で消費生活問題に対する理解を高め、被害の未然防止や早期発見を図ることなどを目的とした講座です。

当日は、マイナンバー制度や運用についての啓発も行います。

- ◎日 時 平成27年12月24日（木）10:00～11:30
- ◎場 所 徳地地域交流センター
- ◎対 象 市内在住の消費者、
地域で見守りを行う方（民生委員・福祉員など）
- ◎申 込 不要
- ◎料 金 不要

問合せ先 市消費生活センター
☎083-934-7171

※プライバシーに関わる秘密は厳守します

歩きやすくなると評判！ 「足の健康アップ教室」

- ◎日 時 平成28年1月20日（水）
13:30～15:30
※現在治療中の方は、事前に主治医にご相談ください。
- ◎場 所 徳地保健センター
- ◎定 員 20人程度
- ◎内 容 健康チェック、健康運動指導士による講話と実技指導
- ◎持参品 運動の出来る服装・靴、筆記用具、タオル、
水分補給用の飲み物
※裸足で足の体操を行いますので、裸足になれるよう服装にご留意ください。
- ◎申込期限 1月19日（火）まで

申込先・問合せ先 健康増進課 健康づくり第三担当
☎52-1114

10年後も元気で過ごすために！

【脂質異常症予防教室】

- ◎日 時 平成28年1月18日（月）
10:00～13:00
- ◎場 所 徳地保健センター
- ◎内 容 保健師、栄養士の講話、試食、
血管年齢測定ほか
- ◎対象・定員 脂質異常症の予防に関心のある市民15人程度
- ◎持参品 筆記用具、試食代300円、
健康診査結果（お持ちの人のみ）
- ◎申込期限 1月12日（火）まで

【糖尿病予防教室】

- ◎日 時 平成28年1月25日（月）
10:00～13:00
- ◎場 所 徳地保健センター
- ◎内 容 保健師、栄養士の講話、試食、
血管年齢測定ほか
- ◎対象・定員 糖尿病予防に関心のある市民15人程度
- ◎持参品 筆記用具、試食代300円、
健康診査結果（お持ちの人のみ）
- ◎申込期限 1月19日（火）まで

申込先・問合せ先 健康増進課 健康づくり第三担当
☎52-1114

フォトギャラリー



11月22日（日）
北野天満宮秋季大祭

行事カレンダー

(12月15日～1月15日)

12月	15	憩いステーションとくち	(問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
	16	あいあいサークル「クリスマス会」	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
	16	認知症者を支える家族の会	(問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
	18	ノルディックウォーキングと石風呂体験	(問) 国立山口徳地青少年自然の家 ☎56-0113
	27	出雲地区ラジオ体操・ウォーキング	(問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0217
1月	27	ノルディックウォーキングと石風呂体験	(問) 国立山口徳地青少年自然の家 ☎56-0113
	10	ノルディックウォーキングと石風呂体験	(問) 国立山口徳地青少年自然の家 ☎56-0113
	13	母子健康相談	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
	14	定例健康相談・介護予防相談	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114

フォトギャラリー



～交通安全は譲り合いから～

島地の国道を走っていると思わず微笑んでしまうところがあります。よそ見運転は駄目ですが、譲り合いが交通安全の心構えですね。(取材:徳地づくり達人塾)

子育て支援センター すくすくハウス予定 ☎52-0662

- 12月18日 クリスマス会&クリスマスバイキング(要予約)
- 24日 お誕生日会
- 1月8日 どんど焼き(お飾りがありましたら一緒に焚きます)
- 12日 絵本読み聞かせ

毎週火木金曜日に楽しい遊びを用意してお待ちしています。おしゃべり、子育ての悩み、ほっと一息の場となればと思います。お気軽にのぞいてみてくださいね。

島地保育園内子育て支援室 のびっこ島地予定 ☎54-0563

- 12月18日(金) 紙であそぼう
- 22日(火) 磯村先生とえいごであそぼう
- 25日(金) クッキング(ホットケーキ)
- 1月15日(金) お正月遊びをしてみよう
- 22日(金) 身体を動かしてあそぼう

お子さまの遊びの場として、また同じ年頃のお子さまがいらっしゃる親御さん同士の交流の場として気軽にお越しくださいませ。(特に申し込みはいりません)

図書館 12月 / 15・22・24・29・30・31
休館日 1月 / 1・2・3・5・12

地域拠点だより

徳地地域づくり協議会で 除雪サービスを行ないます

【除雪する場所】

住宅の出入口から直近の公道までの通路部分で歩行に支障のない180cm程度の幅を除雪します。

【利用対象者】

自力で除雪をすることが困難と認められる世帯です。

- ① 65歳以上の方だけで構成されている世帯
- ② 重度(1・2級)の身体障がいのある方だけで構成されている世帯
- ③ 65歳以上の方と重度の身体障がいのある方だけで構成されている世帯

【利用料負担のお願い】

除雪サービスを利用された場合、利用料が必要となります。

利用料は1時間あたり1,500円(1時間で除雪できなかった場合30分毎に500円をいただきます)

<申込先>

- ・徳地地域交流センター(徳地山村開発センター内)
- ・徳地地域交流センター各分館(八坂、柚野、島地、串)

<地域づくり協議会>

+ 休日・夜間診療のご案内(防府市内)

* 山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。

【内科・小児科】(受付8:30～11:30、13:00～16:30)
防府市休日診療所(鞠生町) ☎0835-24-4172

【歯科】(受付8:30～11:30)
防府市休日診療所(鞠生町) ☎0835-24-4172

【外科】当番医療機関(診療9:00～17:00)

12月20日(日)	黒田クリニック(田島)	☎24-9090
23日(水)	くらしげ整形外科クリニック(田島)	☎25-0076
27日(日)	三田尻病院(お茶屋町)	☎22-1110
31日(木)	松本外科病院(天神)	☎22-1409
1月1日(金)	防府胃腸病院(駅南町)	☎22-3339
2日(土)	桑陽病院(車塚町)	☎23-1781
3日(日)	緑町三祐病院(緑町)	☎22-3145
10日(日)	しみず医院(栄町)	☎38-8883
11日(月)	たかきクリニック(台道)	☎33-1050

【夜間救急病院】(平日、土日にかかわらず)

病院名(場所)	電話番号	12月・1月の開設日						
三田尻病院(お茶屋)	☎22-1110	15	20	25	30	4	14	
松本外科病院(天神)	☎22-1409	16	21	26	31	5	10	15
防府胃腸病院(駅南町)	☎22-3339	17	22	27	1	6	9	11
桑陽病院(車塚町)	☎23-1781	18	23	28	2	7	12	
緑町三祐病院(緑町)	☎22-3145	19	24	29	3	8	13	



ふるさと再発見 ～幕末維新と徳地～

ゆのき とさこ 柚木刀迫の砲台跡 - 四境戦争 -

味噌、醤油、酢、 みりんの選び方

日本の発酵調味料は、働きもの。古来から私達の体内の解毒をし、内臓を健やかに保つ善玉菌をもっています。本物の調味料を使って、できることから食卓をチェンジしてみましょ。



醤油

丸大豆と書かれたもの、原料にアルコール、酒粕、アミノ酸を含まないものが良いです。



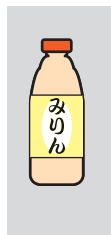
酢

玄米や黒酢は、米の力のみで発酵したものが多くです。(穀物酢や米酢は産地が不透明な上、アルコール添加されたものが多くです)



味噌

脱脂大豆でないもの。麦味噌の場合は、麦、麴、大豆、塩のみで発酵するので添加は、必要ないです。



みりん

本物は酒類になり飲むことができるほど。長期間熟成の本ミリンがおすすめです。

大村益次郎が造ったといわれる砲台と硝煙小屋の跡（伝承）が徳地柚木にあります。

慶応2年（1866年）6月5日、幕府は長州藩に対して15万もの兵で総攻撃を開始しました。第2次長州征伐、いわゆる四境戦争です。「徳地の昔ばなし」（徳地町教育委員会発行）には「津和野口からいつ敵が攻めてくるかも分かりません。兵火の難に備えなくてはなりません。（村人に対して）『二つ切り』が鳴ったら用意をせい、『三つ切り』が鳴ったら竹槍と鎌をかついで出てこい、の布令です。大切なものは井戸へ下ろしました。としゃくの中へかくしました。」と、その時の切迫した様子が描かれています。徳地の柚木には石見街道の出口がありますので、非常に緊迫した状態にあったであろうと想像できます。

大村益次郎は優秀な科学者でした。その彼が、石見方面の総大将として石州征長軍（福山藩・鳥取藩・松江藩・浜田藩・津和野藩）と戦ったのは有名な話です。当初、石州征長軍が攻め込む所として、藩庁の山口に近く、長州藩を二つに分断する徳地を考えたのでしょう。征長の軍が攻め込んでくるとみた柚木の石州街道出口を睨み、山代街道と重なった刀迫の養ヶ埜に砲台を築いたといわれています。



中央奥「養ヶ埜」（手前は柚野木小学校）

柚木高巣地区では「城を築くというので村人みんなが協力した。」という話が今も残っています。実際に、砲台を築いたといわれる平地と、兵士が銃を構えたであろう塹壕も見取れます。おそらく急速に西洋化した軍備（四斤山砲やミニエー銃）で武装し、散兵戦術で石州征長軍を迎え討とうとしたのでしょう。しかし敵と思われた津和野藩は長州藩に協力をします。



県境「仏埜」からの柚木部落眺望

長州軍は津和野の領地を通り、浜田藩の益田で戦って大勝したのは史実の通りです。

島根県の柿木村と柚木とはわずかに十数キロの距離。科学者・兵学者として戦いを指揮し、長州藩へ攻め込もうとする敵の心理を読んだ大村益次郎の力量を彷彿させる伝承です。

（徳地幕末維新歴史放談の会 代表 山田 文雄）

一口メモ

味噌や醤油は、菌が生きていれば常温保存で、どんどん増えていきます。

発行 徳地地域づくり協議会
〒747-0231 山口市徳地堀 1533 番地 ☎0835-52-0217
[HP] <http://tokujichiiki.com> [e-mail] tokuji@tokujichiiki.com
企画編集 徳地づくり達人塾
[HP] <http://tokudzukuri.soreccha.jp/>
(印刷 株式会社ティーピーエス)